

番号	説明会に参加	第2回の説明会で、学校統合に関して、特に説明を聞きたいことはどのようなことですか。	項目	開校準備（通学方法等）に関する ことで、不安や心配なことがあれば具体的に記入してください。（質疑1）	回答	項目	活用施設の決定理由に関する ことで、聞きたいことがあれば具体的に記入してください。（質疑2）	回答	項目	学校統合の必要性・統合方法に関する ことで、聞きたいことがあれば具体的に記入してください。（質疑3）	回答	項目	その他に関する ことで、不安や心配なことがあれば具体的に記入してください。（質疑4）	回答
1	ある	何度も説明会を開くが先延ばしにするだけで解決する事なのか。	推進計画	話が一向に進まないことが何よりの不安です。	令和9年度の統合新中学校開校に向けて準備を進めているところですが、ご心配されているように、少しでも多くの方に統合に対するご理解をいただくため、説明会の機会を数回設けています。 統合新中学校の開校に向けて、早急に開校準備委員会を開催していくことが両校の課題解決のために必要と考えており、関係者の皆様のご理解とご協力をいただきながら進めていきたいと考えています。	推進計画	初期の説明から費用が膨れ上がっていることも気になりますがそれよりも準備が進まずに1年、2年と先延ばしになることでもっと無駄な経費になるのでは？ すぐに工事を着工すれば予定通り10年の使用期間があるが、ずれ込むと単純に使用期間が減るだけでは？	ご意見のとおり、工事が遅れば、使用期間が短くなる可能性があり、1年開校が遅れると、子どもたちにとってより良い教育環境の実現が1年遅れることとなります。 現状の1学年1クラスの状況や将来の単学級化を避け、市内全域で教育の機会均等と教育水準の維持・向上を図るため、現状最短の開校となる令和9年度の開校を目指します。	推進計画	少子化で統合は避けられない問題と思う。東中と黒中の問題ではない。 目先の問題に気を取られて全体が見えなくなっていないか？本当に子どもの教育を第一に考えているか？10年、20年先の世代が西脇市で子育てをしたいと思ってもらえる環境を作ってほしい。	学校統合は市内全域の課題と捉えています。そのため、子どものよりよい教育環境の実現に向けて市内全域で検討し、西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画を策定しました。 西脇東中学校と黒田庄中学校の統合新中学校の活用施設の決定に関しては、子どもの教育環境を最優先に考えた結果であり、一定の理解を得られていると捉えていますが、少しでも多くの方にご理解いただけるよう引き続き説明に努めます。	黒田庄地区 黒田庄で統合を反対している団体の代表がわからない構図が不安。 保護者の有志の顔が見えなくて不安。	少しでも多くの方にご理解いただき、不安を解消できるよう、丁寧な説明に努めます。	
2	ある	開校準備（通学方法等）に関する こと	説明内容	具体性を持たせた内容の説明をして欲しい。実際の教室振り分けなど、実像がなにも見えていないので皆さんから不安が生まれてると思います。	教室の振り分けについては、学校長などが意見交換しながら決めていきますので、現時点でまだ決まっておられません、ご意見を参考にさせていただきます、具体例を多く取り入れた説明を心がけます。									
3	ある	学校統合の必要性・統合方法に関する こと	通学	通学の支援がない。自転車を通うなら、民家のない道を通る。心配しかない。バザードマップで危険な箇所も通る。その点は施設の安全性を考える際に検討したのか？ そうした中で、両地区を結ぶ県道は十分な幅員等があり、一般的に見て、現時点では往来が困難であるような状況ではないのではないかと考えています。そのため、そこを通学路に指定した場合に、どのような課題があるかを開校準備委員会等で協議します。 また、ハザードマップを俯瞰した上で、どちらの施設を使用した場合にも、ハザードマップで災害の可能性のある場所を通ると確認しており、通学路の設定段階において、対応策等の検討が必要と考えています。	両地区内の通学路の安全性は現時点で既に一定確保されていると考えており、現状で通学路の安全性等が課題となる可能性がある場所としては、これまで通学路の設定がなかった地区間等の道路であると想定しています。 そうした中で、両地区を結ぶ県道は十分な幅員等があり、一般的に見て、現時点では往来が困難であるような状況ではないのではないかと考えています。そのため、そこを通学路に指定した場合に、どのような課題があるかを開校準備委員会等で協議します。 また、ハザードマップを俯瞰した上で、どちらの施設を使用した場合にも、ハザードマップで災害の可能性のある場所を通ると確認しており、通学路の設定段階において、対応策等の検討が必要と考えています。	生徒規模	なぜ大人の方が移動する（不利益を被る人が多い）のかが分からない。それをよしとする、納得できるだけの理由がないように思う。子どもに説明しても、納得してもらえない。もっとその点をしっかりと説明してほしい。	教育委員がそれぞれの視点で子どもにとってより良い教育環境を実現するために、生徒規模の大小も含め、総合的に判断した結果であり、西脇東中学校の校舎を活用した方が教育水準の維持・向上に適していると判断しました。 なお、決定理由に関しては市HP https://www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogonai/kyouikuiinkai/kyouikukanribu/kyouikusoumuka/gakkoutekisei/katuyoshisetsukettei/28735.html をご覧ください。	推進計画	「とりえず」、「ひとまず」3拠点を進めてからというが、西脇の目指す教育、ゴールが見えない。今回の統合が通過点と言うが、ゴールが見えないのであれば、前には進めない。西脇市は今後の統合をどのように行う予定なのか知りたい。それをこれからの出生数を見てからと言うなら、今の時点で統合は賛成できない。	西脇市の目指す教育については第4期西脇市教育振興基本計画で示しているところですが、西脇市の目指す教育環境を実現するためには、一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり、単学級の解消、また将来の単学級化を避けることを目的として西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画を策定しました。 中学校に関して段階的な統合を計画しており、令和9年度に西脇東中学校と黒田庄中学校を統合、令和15年度に調査検討会議を設置、出生数や教育制度を慎重に確認し、適正な統合時期などについて検討を行った後、令和20年度に西脇東中学校と黒田庄中学校の統合校と西脇中学校を統合する予定としています。なお、急激な出生数の低下などにより、調査検討会議の設置時期などが早期になる可能性もあります。	避難所 地域から学校がなくなることで、避難所もなくなります。安全に過ごせない土地、日々の生活に不便を強いられる土地に住みたい人はいるのだろうか？不安に思っています。	学校閉校後の避難所のあり方については市長部局が中心となり、必要な避難所機能が維持されるよう適切に検討を進めます。 また、現在よりも通学距離等が伸びること、利便性が損なわれるとお感じの面もあるであろうが、一定の基準を設けたうえで、通学支援を実施します。 市では、人口減少等が進む中であっても、子どもの良好な教育環境を維持・充実していくことが重要な施策の1つであると考えており、市内のどの地域に暮らしておられても、本市の目指す教育を享受できるよう、学校学習環境規模適正化の取組を進めていきます。	
4	ある	学校統合の必要性・統合方法に関する こと	通学	女の子なので、人通りの少ない場所を自転車で通るのが不安です。	児童生徒の通学の安全を確保することは統合に限らず必要なことです。ご意見のように、自転車通学に関するご心配については、必要に応じて街灯や横断歩道の設置、また見守り隊の協力などを得ながら通学の安全を確保していきます。				推進計画	統合する年を遅らせることはできないのですか？急いで統合すると、失敗しそうで不安です。	統合校は令和9年度の開校を目指しており、開校が1年遅くなれば、より良い教育環境の実現が1年遅れることとなります。 市内での生徒数の偏りを解消することにより、市内全域での教育機会の均等を図っていきます。			
5	ある	開校準備（通学方法等）に関する こと	開校準備委員会	開校準備委員会に黒田庄側から誰も参加しなかった場合、比延地区や教育委員会の意見だけで一方的に色んなことが決まっていますか？	開校準備委員会は、子どもたちのためによりよい教育環境を創出し、地域の実態に即した学校となるように設置するものです。 地域の実態に即した学校になるためには、委員全員の参加が必要と考えています。委員の皆さんには、子どもたちのより良い教育環境の実現のために、ご理解をいただき、開校準備委員会を開催し、必要な協議を進めたいと考えています。									
6	ある	活用施設の決定理由に関する こと				適正な学校規模	東中学校を使用するならば、通級や別室対応の教室はどこになるのでしょうか？ 特別支援学級の教室はどこを予定していますか？黒中では、特別支援学級が2教室、別室対応が3教室あるようですが、東中でもそれだけを用意してもらえるのでしょうか？それは増築校舎になるのですか？それは適切な規模と言えるのでしょうか？	西脇東中学校は現状でも通級教室やサポートルームなど必要な教室は設置しています。統合してからも同様に使用する予定であり、必要に応じて教室を柔軟に活用し、サポートの必要な生徒に寄り添った対応を行います。						

7	ある	学校統合の必要性・統合方法に関すること	推進計画	将来閉校する学校の開校準備に意義を全く感じない。皆(生徒保護者 先生 教育委 住民)の労力時	子どものよりよい教育環境の実現に向けて市内全域で2拠点化を含めた検討を行い、3拠点化から2拠点化へと向かう計画(西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画)を策定してください。これら貴重で有限な資源をより良い3校合併に向けてることが有意義では無いでしょうか。	また、将来閉校する学校であっても、そこで過ごす生徒にとっては大切な3年間になります。子どもたちが安心安全な学校生活を過ごすために開校準備委員会を開催しますので、ご理解をお願いします。	全国的にも例のない大が小へ併合する合理的理由が皆無。35人学級化などで合計8クラス化に対応できないのでは。児童減、住民減しか想定していない。企業誘致&住民増&税収増の目論見施策があるのに、受け皿がなくなりますよ。	番号3の質疑2の回答をご参照ください。 また、現在の西脇東中学校の校舎は35人学級になった場合でも、普通学級に通う生徒を計算すると、3学年合計で6クラス、特別支援学級を含めて合計8学級に対応できる校舎となっています。	推進計画	足元の問題解決(教員不足、単学級解消)だけでは、しばむ未来しか見えません。小中一貫にその前後の幼保連携や高校も加えた人材育成(あえて教育とはいいません)のあり方が先です。校舎立地や構造など、その後の話。順番間違えると引き返せなくなると強く思います。	西脇市の目指す教育については、第4期西脇市教育振興基本計画に定めています。ご意見のとおり、人材育成を含めた西脇市の目指す教育環境を実現するために一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり、単学級の解消、将来の単学級化を避けるため、西脇東中学校と黒田庄中学校を統合することとしています。	推進計画	現状の西脇で、結婚し子を生み育てて住み続ける魅力の激減を感じます。魅力ある西脇の未来を創造し支える人材をどう育てるかを、住民皆で考えましょう。教育委員の皆さんが理想とされる教育の姿を実現できるチャンス。歴史に名の残る仕事をして子どもたちに範を垂れることこそ大きな教育です。	第4期西脇市教育振興基本計画に掲げる西脇市の目指す教育環境を実現するため、西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画に基づいて行動していきたいと考えています。ご意見のとおり、今後も住民の皆様と共に検討していきたいと考えるため、引き続き、ご理解・ご協力をよろしく願います。		
8	ある	開校準備(通学方法等)に関すること	通学	具体的な自転車通学のルートを知りたい。比較的街灯が少なく感じるので安全のために設置して欲しい。	県道294号線(バイパス)を主な自転車の通学ルートとして検討しています。安全確保に向けた対応につきましては、番号4の質疑1の回答をご参照ください。								推進計画	子どもたちにとっても中学校が9年ぐらいですなくなるってのはどうかと思います。母校として残るように新校舎を早めに建てて欲しい。	子どものよりよい教育環境の実現に向けて市内全域で2拠点化を含めた検討を行い、3拠点化から2拠点化へと向かう計画(西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画)を策定していますので、ご理解をお願いします。	
9	ある	学校統合の必要性・統合方法に関すること							推進計画	西中と統合するまで、黒田庄中はそのまま統合しないでほしいのですが、なぜそれができないのでしょうか?「答申で決まったことだから」以外の理由を教えてください。	西脇市の目指す教育環境を実現するためには、一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり、単学級の解消、将来の単学級化を避けるため、西脇東中学校と黒田庄中学校を統合することとしています。					
10	ない	活用施設の決定理由に関すること	開校準備委員会	統合することによって普段起こらない新しい問題や不具合などに手を取られて、生徒たちの教育や学校生活に影響が出ないかが心配です。しっかり開校準備や統合のシステムが整った状態になってから統合して欲しいと思います。	開校準備委員会は、よりよい教育環境を創出し、地域の実態に即した学校となるように設置するものです。ご不安な点なども含め、子どもたちの学校生活がよりよくなるよう開校準備委員会を開催し、開校後も子ども達の学校生活に影響がでないよう努めていきます。また、適切な教員配置やスクールカウンセラーを配置し、生徒の不安の解消に努めます。											
11	ある	活用施設の決定理由に関すること	通学	電車通学とバス通学を併用することはできるのか。 例えば朝は電車で行くけど、部活や行事によっては帰りはバスで帰るなどは可能なのか。	電車またはスクールバスのどちらか一つを選択いただくようお願いします。 電車と自転車、スクールバスと自転車の併用は可能ですが、電車とスクールバスの2つを利用する場合は二重の補助となるため、電車とスクールバスの併用はできません。		東・黒改修内容	黒中の修繕と東中に新しくプレハブを建てる金額が同じくらいになる根拠。 工事の概算は、類似の工事例を参考に、物価上昇等も踏まえて算出しました。黒田庄中学校の工事内訳は、①校舎の外壁改修、②体育館・武道館の外壁改修、③校舎・体育館の屋上防水の改修、④職員室の増築、⑤その他、外構工事が主な工事内容となります。西脇東中学校の工事内訳は、①校舎の増築、②校舎の外壁改修、③トイレの改修、④職員室の増築、⑤駐輪場の増築、その他外構工事が主な工事内容となります。 黒田庄中では、①、②の校舎、体育館、柔剣道場の外壁改修、③校舎、体育館の屋上防水改修で約4億4千万、それ以外で約4千万となります。 西脇東中では、①、④の職員室、教室の増築で約2億、⑤外構、③トイレ、②外壁改修等で約2億8千万で合計4億8千万となります。 工事費に関しては誤差が100万、1000万単位で生じると考えられますが、技術系の職員が積算を行い、両校とも若干の違いはありますが、合計して約4億8千万となっています。	基本的なことになるが、なぜ小さい学校に大きい学校が統合されるのか単純に疑問でしかない。	番号3の質疑2の回答をご参照ください。	推進計画	西脇市民全体ではこの税金の使い方、使い道についてどのような意見があるのか。校区以外の保護者の意見も聞いてみたい。	番号11の質疑2の3つ目の回答をご参照ください。			
							生徒規模	修繕と同じくらいの金額で簡単に建てられるようなプレハブに子どもを通わせるのはかわいそう。しかもいざ取り壊すものに税金を注ぎ込むことには納得できない。 また、本市では公共施設マネジメントの取組を推進しており、統合新中学校の開校後、建築年が比較的新しい体育館と増築校舎については、閉校後すぐに取り壊すことは現実的ではなく、公共ニーズでの転用可能性を検討すると想定されます。	増築校舎は、少人数で学習する教室を確保するために建てるものであり、常駐する教室として活用する予定ではありません。増築校舎は、仮設建物ではなく、既存の校舎と変わらない快適性を有しています。そのため、生徒の学びにとってより快適かつ効果的な教育環境の実現につながるものと考えています。							
								校区以外の市民にもそれは周知されていて、納得されているのかも疑問。	ご意見のように、公費を使うに当たって、丁寧な説明は必要だと理解しています。そのため、これまで行った統合懇談会や地域意向調査結果については、広報やHPを通じて市内全域に周知しています。また、工事内容や予算等については、議会を含めて適宜説明をしていく予定です。							

12	ある	活用施設の決定理由に関すること	通学	部活動の今後の有無、自転車通学、バス通学の決め方にも納得いかない。黒田庄から行く子みんながバス通学になるならわかるけどなぜ一部だけが自転車通学なんですか。	現在の通学支援対象は、国の基準の6キロを想定しており、最も遠い民家から学校までの距離が6キロを超える地区を対象としています。対象外の地区は自転車通学となりますが、地域の実情や個別の事情など、通学支援の詳細については、開校準備委員会等で協議する予定です。 通学の距離に関する基準等の考え方については、市内全体の均衡を考慮する必要もあるため、ご理解をお願いします。	推 進 計 画	どちらの学校が適切なかは各校の細かいところをみていないのでわかりませんが、東中の方が教室数が不足、たくさんの税金を使って仮設の教室を建てるくらいなら統合を急がず今使える校舎をそれぞれが使って、数年後に新しい大きい校舎を建てる資金としてその税金を置いておいてほしいです。今急いで統合するメリットは？	学校学習環境規模適正化（統合）の取組については、学校学習環境規模適正化推進検討会議（審議会）の中で子どもの良好な教育環境について十分に議論を行った上で導き出されたものです。 その結果、一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり、単学級の解消、将来の単学級化を避けるため、西脇東中学校と黒田庄中学校を統合することとしています。 ご意見のように、統合しないで現状を維持した場合や早期2校化で生徒数を一定数確保した場合の比較など、あらゆるパターンを考慮した上で、原案が最適なものと判断しています。	推 進 計 画	生徒数が減っていることは分かりますが、今統合をするためにたくさんの税金を使って教室を建てたり修繕してまで統合をするメリットはなんですか？今ある校舎でそれぞれが過ごしているのにわざわざ税金を使って仮設の校舎を建てて、通学用のバスも手配して…その費用はまた税金ですか？そこまでする理由がよくわかりません。	1学年2学級を確保できることにより、子どもにとってより良い教育環境の実現につながる事が最大の効果と考えています。 子どもにとっては、1年1年が大切な1年であり、開校が1年遅ればそうした環境の実現が1年遅れることになります。市内での生徒数の偏りを解消することで、市内全域での教育機会の均等を図っていきます。	生徒規模	数年後に小中一貫校になるのか中学校が市内一校になるのか分かりませんが今なぜ生徒数が多い黒田庄が生徒が少ない東に移動なのか分かりません。統合に関してたくさんの税金を使うことへの理解は黒田庄や東中の方だけでなく市内全体の方も理解されてるのですか？黒田庄地区、東中地区だけの問題ではないと思います。	生徒数に関するご質問については、番号3の質疑2をご参照ください。 税金の使い方のご質問については、番号11の質疑2の3つ目の回答をご参照ください。		
13	ある	開校準備（通学方法等）に関すること	開校準備委員会	当初、令和5年に開校準備委員会設置で令和8年の開校だったが、令和9年開校で令和7年開校準備委員会が設置開始だと準備期間が短くなっているが、十分な議論や準備ができるのでしょうか。開校が迫っているからと事を早急に進めることがないようにしてほしい。進行状況によっては開校を遅らせることも検討するべき。	当初の予定としては、令和5年の後期から令和7年度の約2年半ほどで開校準備委員会を予定していました。現在の計画では令和8年と9年の2年間で開校準備委員会を開催する予定であり、当初より半年ほど短くなっています。 そうした中で、他市事例では開校まで最低2年間を要していることや、必要な協議事項をもとにした想定スケジュール等を踏まえ、本市でも2年間で開校に向けての準備を進めることが可能と考えています。											
14	ある	学校統合の必要性・統合方法に関すること	通学	自転車通学について先日、福地地区から岩田産婦人科までのバイパス横の歩道が冬季は凍結があり、日当たりが良くないため長時間溶けていませんでした。坂であり非常に危ないと思います。これは黒中、東中を使う関係なく危険だと思いました。距離も長い為凍結防止剤散をまくのも大変かと思えます。	凍結した場合や、その他危険だと考えられる場合について、道路管理者とも協議しながら開校準備委員会で検討し、ご意見も参考にしながら安心安全な通学が実現できるよう努めます。									通学	自転車通学の生徒は、人家の無い距離が長く、不審者等が心配です。どちらの中学校を使うにしても共通の問題かと思えます。	番号4の質疑1の回答をご参照ください。
15	ない	開校準備（通学方法等）に関すること	通学	通学方法にかかわらず交通安全や不審者に対する安全等が心配。校内に於いても安全確保の具体的対策を知りたい。	通学に関するご心配については、ご意見のように子どもたちの安全の部分に関する心配を極力減らす、もしくは対策をとることが大原則であるため、様々な手段を使いながら安全の確保に努めます。また、校内における安全対策については、現在の西脇東中学校で実施している通り、不審者対策訓練、火災訓練、地震訓練をおこなっており、月に1回補導員と警察が来校し、現状の確認や情報交換をしています。統合新中学校においても同様の安全対策を実施していきたいと考えています。									部活	部活動について、運動系以外の活動を。運動したくない又苦手生徒が活躍する部をつくって居場所を増やして欲しいです。音楽、美術、英語、数学、理科、社会、手芸、料理、文芸、eスポーツ、ワングル、サイクリングetc	部活動を増やすと、部員がどれだけ集まるか、また顧問を配置できるのかななどの問題があり、そのような実情も踏まえて、両校の校長が協議し、決まっていくと考えています。学校の部活動は平日も休日も行われていますが、教育委員会では、平日の部活動はしばらく続け、令和9年度の中学3年生の最後の大会や発表会等が終わった後は、休日の学校部活動をなくし、地域の人に指導していただけるようにしていきます。将来的には、生徒がしたい運動系や文科系の活動を増やせるよう検討していきます。
16	ある	活用施設の決定理由に関すること				コスト	何をもちどどちらの中学も同じ予算なのか？	番号11の質疑2の1つ目の回答をご参照ください。	推 進 計 画	3つの学校が結局1つになるのに、なぜまず2校が合併なのか？わざわざ余計な税金を使うのか。		番号12の質疑2の回答をご参照ください。		説明内容	全く透明性が見えません。話も進まないかと。なぜ？みなさんわかっていること。	これまでの取組については、広報にしわぎ、市ホームページ、防災行政無線、記者発表を通じての新聞記事、また、会議での説明内容については、傍聴やホームページにて説明内容の動画を掲載するなど、様々な手段で情報を公開しています。引き続き周知を図りますので、市ホームページ等で情報をご確認ください。
17	ある	学校統合の必要性・統合方法に関すること	通学	安全な通学手段、経路の確保。駐車場までの距離が遠すぎる。	番号4の質疑1の回答をご参照ください。	推 進 計 画	今回の統合に疑問があります。無理やりの理由をつけての決定であると感ずます。莫大な費用投資で大人数の学校から少人数の学校への統合、新たな建築、修繕が本当に必要ですか？西脇市民のため、子どもたちのためにもっと有益な費用の使い方があるでしょう。数年のために増築、この際だからと修繕したり無駄ですよね。	番号12の質疑2の回答をご参照ください。					黒田庄地区	白紙撤回を求めた	番号12の質疑2の回答をご参照ください。	

18	ある	学校統合の必要性・統合方法に関すること	通学 今まで通学にお金がいらなかったのにバス、電車はお金がかかるのでは、何か支援があったとしても所得制限があったりして結果子どもを差別されてるみたいで不快です。	通学支援は所得制限を設ける予定はなく、通学支援対象となった場合は通学バスまたはJR通学のどちらかを選択していただき、通学バスは無償、JRであれば対象区間の定期券購入費の全額補助を行います。			推進計画 どうせ統合しても数年後にまた統合！なら最初から3校同時にしたら良いのでは！余ったお金で給食無償化とか他にいろいろ支援できる!!	番号12の質疑2の回答をご参照ください。		
19	ある	活用施設の決定理由に関すること			決定方法 施設決定をした教育委員さんの中に比延地区の方がいたと聞き、公平性に欠けると感じました。 懇談会のアンケートでは、保護者の意見は黒田庄中学校の方が多かったのに、その意見が反映されているとは思えません。そんな決定方法は保護者や地域に寄り添った決定だと思いますか？	教育委員は、議会の同意を得て任命された方であり、例えば、ご自身の居住地区によって左右されるような、公平性に欠ける考えをすることはありません。 そのため、今後どの地区から教育委員が任命され、様々な課題を審議、協議される場合があっても、ご意見のような懸念が生ずることはないと考えています。 統合懇談会は活用する施設的意思決定は行わないものとして開催しています。 また、各回で出席された両地区の委員人数に差がある中で、ご意見のように黒田庄中学校の校舎活用の意見が多かったのは事実です。 教育委員会の協議に当たっては、統合懇談会の内容やアンケート結果に加え、今までの経緯、自由意見を含む地域意向調査の結果など、総合的に判断してそれぞれの視点で導いた結果です。 懇談会のアンケートの結果のみで、決定したものではないことにご理解をお願いします。				
20	ある	活用施設の決定理由に関すること	通学 バスの利用となれば、集合場所まで行き、バスに乗ってとなれば1時間弱の時間を要し、負担が大きいです。もう少し台数を増やすなどが必要なのは？また通学支援がない子ども達や距離が遠くなった子ども達の人数も多く、東中と黒中と比べるとどうして人数の多い黒中が通学距離を増やし、危険が増した状態にならないといけないのか。	統合があってもなくても、移動する生徒が多い場合でも少ない場合でも、対象となる子どもたち全員が安心して通学でき、心配をできる限り減らす対策をとることが大原則となります。 活用施設の決定については、教育委員がそれぞれの視点で子どもにとってより良い教育環境を実現するために導いた結論であり、生徒規模も含め、総合的に判断した結果となります。なお、バスの台数については通学支援対象者数を基に計算するものであり、現在は3台を予定しています。	適正な学校規模 ずば抜けて優良な理由があるなら納得できるが、市民のアンケートの思いは生かされておらず、生徒数の多い黒中が移動となり、校舎は教室数が少ない東中となり仮設校舎を建てる状態であり、何一つ納得できる決定理由がない。そもそも統合するにあたり、一番初めに教育委員会で黒中へ統合と決まっていたのにどうしてなのか。	多様な価値観やご意見がある中で、比延地区・黒田庄地区の保護者や地域の方々のご意見を伺うため、地域意向調査を実施しました。市教育委員会は、地域意向調査結果や統合懇談会の内容などを参考に、総合的な判断により西脇東中学校を活用施設に決定しています。主な決定理由については、地域意向調査の結果などを踏まえたものと考えています。ご意見のように子どものよりよい教育環境にとって、価値観は様々であることは理解しております。なお、教育委員会の協議結果として、黒田庄中学校を活用施設に決定していたということはありません。	推進計画 R15年には再統合検討になるならこのまま統合なしでもよいのでは？	番号12の質疑2の回答をご参照ください。	開校準備委員会 統合に向け、3年での準備期間が2年となり、この状態で問題なく準備ができるのか？統合するにあたり、生徒の不安な部分や親の心配な部分に真剣に寄り添ってもらえるのか。その対策はたてられているのか？	番号13の質疑1の回答をご参照ください。 また、開校準備委員会は、統合新中学校が地域の実態に即したものであるようにPTA役員や地域の区長等に委員に就任していただくものですので、保護者の方や生徒の皆さんが不安に感じられていることに寄り添った協議ができる組織になると考えています。そうした中で、より具体的な意見聴取の方法等については、開校準備委員会で検討することになると思われます。 また、教育委員会が開校準備委員会の協議結果や報告内容等を尊重しながら、開校に向けた準備を進めます。
21	ある	西脇市の目指す教育について							学校運営 教育委員会の1月定例会で、開校準備委員会の学校運営部では、「コミュニティスクールの開校を見据えた協議を行いたい」と言っていました。地区にもない、たった11年しかない、こんなに採めた学校をどのようなコミュニティスクールにされるつもりですか？	コミュニティスクールとは、「地域とともにある学校づくり」を目指し、「目指すべき教育」のビジョンを保護者や地域の方々と共に共有し、目標実現に向けて熟議し、ともに協働していく仕組みのことであり、自分の子ども、地域の子どもの通う学校をより良いものにし、比延地区、黒田庄地区で協働しながら学校とのつながりを強固にしていく活動です。地区に学校がなくても、11年しか存在しない学校だとしても、そこに通う子どもにとっては大切な3年間となり、大切なお子様を預かる学校として保護者、地域の方との協働は必要不可欠なものと考えていますので、ご理解をお願いします。
22	ない	最終的に西中との統合も決定されているのに、莫大な費用をプレハブ建設に使うことが疑問です。まず2校統合を先にすることが決まっているからと言う理由で、選択肢にさえ含まれなかったことに疑問があります。	通学 スクールバスがいろんなところを経由することによって、驚くほどの時間をかけて通学すること。10数分で行けるところに小1時間かけることが信じられません。日照時間云々あがっていましたが、座っているバス通学時間の長さが成長期の子どもの運動面、心理面に及ぼす影響はどう考えておられるのかなと思います。	平成19年度の文部科学省の調査では、通常運行のバスを使用する場合、ストレスはやや高い傾向が見られますが、自転車通学等と比較すると、本人、保護者ともに危険度は低く、疲れについても低い値となっております。バス通学にはデメリットもあるとは考えますが、友達とコミュニケーションをとる、学習時間に活用するなど車内での時間を有効に使える側面もあると考えており、また、自転車との併用は可能ですので、お子様の状況を見ながら自転車での通学も検討していただければと思います。	黒田庄地区 旧西脇市の活性化ありきの判断でしょうか。黒田庄町民のことはあまり考えてもらえてないと感じる施策が多く、子どもたちに対してもそうなのかと残念でなりません。いかがでしょうか。	子どもたちのことを一番考え、子どもたちのよりよい教育環境の実現するにはどちらの校舎が適しているかを協議した結果、西脇東中学校を活用施設とすることに決定しました。4月からは開校準備委員会を開催し、子どもたちが安心安全に学校生活を送れるよう必要な協議を行います。	推進計画 プレハブ建設などにお金をかけるのではなく、教育に関わる人（加配やスクールアシスタントなど）を、増やすことにお金をかけて、教育環境を手厚くすることは市の裁量ではできないものなのでしょうか。そうしながら3校の統合に向けて進んで行くのがいいのではないかと思うのですがいかがでしょうか。	教員の定数に関しては、学校のクラス数に応じて配置できる教員数が兵庫県により定められてはいます。現状では両校とも教員定数だけでは少人数指導が行えず、県の加配措置によって教員の不足を補っている状態です。 仮に市の負担で教員を確保することを想定した場合、校舎建設に係る投資的経費と職員の雇用に係る人件費では、費用の性質や想定される財源等も異なっていることから、単純に費用を振り替えられるものではありません。また、仮に財政的な課題がなかった場合でも、教員の不足が全国的な課題となっており、実現は難しいと考えられます。 学校学習環境規模適正化の取組については、番号12の質疑2をご参照ください。	推進計画 加東市、多可町と比べて見てしまう状況です。いくら幼少期のお子さんを持つ方への支援を手厚くしても、その後が不安では子どもを西脇市で育てたいとは思えません。西脇市で育ててよりは他市、他町へととなっていく現状の加速も心配です。	加東市、多可町ではそれぞれの教育振興基本計画に類する計画に沿って教育を実施しており、西脇市でも第4期西脇市教育振興基本計画で教育の方針を示しています。統合する学校のことについてのご意見かと思いますが、西脇市でも小中一貫教育を実施しており、DXの推進やこども園と小学校の連携、中学高校連携では他市の先を行く現状となっていると考えています。各市町村とも教育を充実させており、西脇市も独自の教育を推進していきます。

23	ない	開校準備（通学方法等）に関すること										
24	ある	学校統合の必要性・統合方法に関すること						どうして今統合なのかを説明してほしいが統合に反対していません。何故4.5億ものお金をかけて11年で終わる校舎を建てるのか。何故20年に二つの中学校になるまで待たないのか。お金がもったいない。助成金など費用があるにしても無駄遣いはやめてほしい。	番号12の質疑2の回答をご参照ください。			
25	ある	上記全て	説明内容 いつも準備委員会で～の返答をされるので、不安を伝えても不安が払拭される返答を頂けないのが、より不安を煽っています	市教育委員会の説明として、まだ協議が行われていない、また、結論がまだ決まていない状態のものを皆様に伝えることで、誤解や不安を生むことを懸念している側面があります。しかしながらご意見のように、結論だけでなく協議内容などの過程も含めて透明性を確保し、具体的に説明できるよう情報提供に努めていきます。	決定方法 保護者と住民、どちらの意見を重視して選んだのですか？保護者の意見を重視して～と伺ったと思うのですが、本当にそうでしょうか？	地域意向調査で、保護者の意見を重視するという結果が住民の意見を重視することより多くなりました。この結果も含め、統合懇談会の意見や意向調査の他の項目の結果、これまでの経緯など総合的に判断し、西脇東中学校の校舎を活用することとなりました。	推 進 計 画 たった10年ほどしかない学校に入れられる子どもたちが、大きくなった時の事は考えなかったのか疑問です。	番号12の質疑3の回答をご参照ください。	説明内容 2/1の説明会の時の返答とWeb上の回答が違う印象をうける書き方になっています。今後やめて頂きたいです。説明会時と回答が変わる場合、どちらも書くべきではないですか？	HPの回答に関しては、2/1の説明会当日に足りなかった内容を補足して回答しており、補足部分には下線を引いています。説明会の口頭の回答だけですと、ご意見のとおり印象などあいまいなものになってしまう可能性がありますので、HPの回答をご参照ください。		
26	ある	前回の説明会の質問と回答について								説明内容 2月1日の質問と回答がホームページに載っていたが、当日の回答と違っていたり、加えられていたりして、混乱している。3月15日に参加される人で、2月1日に来れなかった人もいると思うので、3月15日はまず2月1日の質問と回答の説明から始めて欲しい。	番号25の質疑4をご参照ください。	
27	ある	活用施設の決定理由に関すること	通学 朝の車が多い時間、狭い道を子どもと車がすれ違いが多くなることでの事故の心配。	番号4の質疑1の回答をご参照ください。	通学 駐車場が少ないことや車道が狭いことは、合併で速くから通学の子が、親の送迎で通うことを視野にいれても不安はないか。	送迎自体が少ないこと、また送迎が同じ時間帯に重なることが少ないと想定されますので、大きな問題はないかと考えていますが、児童生徒の通学の安全を確保することは必要なことですので、実際の送迎状況を見ながら、危険と判断した場合は、学校や関係機関と協議を行いながら適切に対応します。	適 正 な 学 校 規 模 新校舎を建てる際、わざわざプレハブを利用する必要はあるのか。使われない片方で学びの機会を与えた方が、学びの環境（クーラー、騒音、業者重機入りでの子ども達の安全面や精神面の負担）納期費用（トイレ、プレハブリース代）でよいのに、なぜわざわざプレハブをお金と時間をかけて利用するのか？	番号11の質疑2の2つ目の回答をご参照ください。	学校規模 学びの環境は大事です。狭い場所でも、色んな我慢をさせると必ずどこかにしわ寄せがきます。中学の3年間は、我々大人が思っているより大切な時間です。工事の騒音や狭い、暑い、寒いなどなくしていい心の負担や苦勞は配慮してあげて欲しいです。	ご意見のとおり、子ども達にとってより良い教育環境の実現を念頭に置き、統合計画を進めてきました。統合の際に必要な工事等につきましても、なるべく子ども達に負担がかからないよう配慮するとともに、統合後の校舎は、学習に集中できる環境を整備したいと考えています。		
28	ある	学校統合の必要性・統合方法に関すること										
29	ある	活用施設の決定理由に関すること			教育委員会 教育委員さんは黒田庄と比延地区の保護者の懇談会にどれくらい参加してたのでしょうか？参加されてない場合はどのように保護者の意見を受け止めていたのでしょうか？懇談会でのアンケートでは、黒中の方がよいとなっていたのに、それが反映されていないのはなぜですか？	教育委員は、統合懇談会を別室で、モニター視聴等をしていました。統合懇談会のアンケートについては、番号19の質疑2の2つ目の回答をご参照ください。						
30	ある	活用施設の決定理由に関すること			推 進 計 画 前回の質問の回答にある「よりよい教育環境を実現する為の観点」とは具体的にどういった内容や定義なのでしょう？決定した内容を見ていると、税金の使い方や、子ども達にかかる通学の安全性や通学時間がかかる負担のことが考えられていないことが心配になります。	「より良い教育環境を実現する為の観点」とは例えば学習活動においては、集団での学びや活動が制限されないこと、グループ活動に少人数による制約がないことなどが挙げられ、他にも項目により、多くの内容があります。詳細は学校学習環境規模適正化推進計画P20の図表26に記載しておりますので、お手数ですがご確認ください。決定理由に関しては、通学の負担やコストも含めた総合的な判断を行っていることについて、ご理解をお願いします。						

31	ある	学校統合の必要性・統合方法に関すること	通学	通学の安全性を確保する前に活用校が決められ、開校準備委員会が始まってから具体的に決めるといのは、保護者は不安なままです。移動距離が多くなる子ども達の目線に立って、今一度、安全に通学を確保できるか含め活用校の見直しをしてほしいです。	通学の安全を確保するのは統合の有無にかかわらず大前提であり、活用施設がどちらの学校になったとしても、様々な手段を使いながら安全の確保に努めます。活用校舎の見直しに関しては番号12の質疑2の回答をご参照ください。	適正な学校規模	前回の説明会でネットによる質問、問15の回答について、なぜ施設が大きいことよりも施設が小さいことが、よりよい教育環境を実現できるとなったのか知りたいです。施設が大きい方であれば、教室数も多いので増築しなくても少人数教育のためのスペースを確保することができるのでは？	それぞれの学校規模を比較しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>西脇東中学校</th> <th>黒田庄中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通教室数</td> <td>6室</td> <td>12室</td> </tr> <tr> <td>最大想定人数</td> <td>240人</td> <td>480人</td> </tr> <tr> <td>校舎面積</td> <td>3,110㎡</td> <td>4,242㎡</td> </tr> <tr> <td>体育施設面積</td> <td>1,116㎡</td> <td>2,377㎡ (体育館+柔剣道場)</td> </tr> <tr> <td>グラウンド※</td> <td>約13,000㎡</td> <td>約15,700㎡</td> </tr> <tr> <td>学校敷地面積※</td> <td>約27,500㎡</td> <td>約28,500㎡</td> </tr> </tbody> </table> <small>※は地籍調査が完了のため、国土計測(ワークルマップ)による参考値を表示</small> このようになり、黒田庄中学校は大きすぎる規模になるのがわかります。将来にわたり、使わない教室や校舎の維持管理まで行わなければならないことなどを考慮すると、西脇東中学校の方が将来にわたっても適正規模と言えます。(表が見にくい場合は3/15の説明資料をご参照ください)		西脇東中学校	黒田庄中学校	普通教室数	6室	12室	最大想定人数	240人	480人	校舎面積	3,110㎡	4,242㎡	体育施設面積	1,116㎡	2,377㎡ (体育館+柔剣道場)	グラウンド※	約13,000㎡	約15,700㎡	学校敷地面積※	約27,500㎡	約28,500㎡	生徒規模	統合再検討までに東中と黒中の統合が必要な理由が、東中の生徒の人数減少によるものなのであれば、この統合の条件は、多い人数の黒田庄の子ども達が移動することによる通学での危険、負担が大きいのではないですか？	統合に関しては、単学級化や、単学級になる可能性のある学校が対象になり、西脇東中学校、黒田庄中学校ともに統合の必要がある状況になっていることについて、ご理解をお願いします。	推進計画	決まったことだからと再検討することなく進めていこうとする姿勢が不安です。どうかより良くする為の再検討をお願いします。	番号12の質疑2の回答をご参照ください。
	西脇東中学校	黒田庄中学校																																	
普通教室数	6室	12室																																	
最大想定人数	240人	480人																																	
校舎面積	3,110㎡	4,242㎡																																	
体育施設面積	1,116㎡	2,377㎡ (体育館+柔剣道場)																																	
グラウンド※	約13,000㎡	約15,700㎡																																	
学校敷地面積※	約27,500㎡	約28,500㎡																																	
32	ある	全部	開校準備委員会	前回の回答も見ました。開校準備委員会を開かないと、不安なことが解消されないのだなと思いました。それが不安です。	開校準備委員会では、個別具体的内容や詳細について検討する予定としておりますので、開校準備委員会についてのご理解をお願いします。	生徒規模	他の方も言っていますが、どうして、多い人数が移動するのでしょうか？	番号3の質疑2の回答をご参照ください。	懇談会に出席した方が、最終回のフリートークで関心の高かったBest2が①統合の必要性(両校がなぜ統合する必要があるのか、西中との3中統合まで存置)②判断基準の明示(理解と納得が重要である)だったと聞いていますし資料にも掲載がありました。つまり7回も両地区の代表が懇談したのに「なぜ統合が必要なのか」という答申自体に疑問をもつ意見「判断基準があいまいではいけない」という、納得性の高い根拠を要求する意見だったと聞いています。「懇談会の人たちが望んでいたことを軽視したプロセス」で今混乱をきたしていると思います。ここまで拗れているので、起点の「答申の検証」を行うべきだと思います。	推進計画	懇談会に出席した方が、最終回のフリートークで関心の高かったBest2が①統合の必要性(両校がなぜ統合する必要があるのか、西中との3中統合まで存置)②判断基準の明示(理解と納得が重要である)だったと聞いていますし資料にも掲載がありました。つまり7回も両地区の代表が懇談したのに「なぜ統合が必要なのか」という答申自体に疑問をもつ意見「判断基準があいまいではいけない」という、納得性の高い根拠を要求する意見だったと聞いています。「懇談会の人たちが望んでいたことを軽視したプロセス」で今混乱をきたしていると思います。ここまで拗れているので、起点の「答申の検証」を行うべきだと思います。																								
33	ある	活用施設の決定理由に関すること				生徒規模	2/1の説明会、黒田庄での質問22回答について、総合的に判断されたというが、どの決定理由も生徒数の多い方が移動するリスクを超えるものがないと思う。小学校の統合の活用校は大きい方(生徒数の多い方)であるが、なぜ中学校だけ増築してまで？	中学校の統合も、小学校の統合も、どちらも人数の大小だけを比較して統合に使用する校舎を決めたものではありません。繰り返しの説明になりますが、活用する校舎は教育委員それぞれの観点から総合的に判断されて校舎を決定したものであり、子ども達にとってより良い教育環境を実現するためにふさわしい校舎を選定しました。				2/1の説明会の回答とホームページの回答に相違があるのではと思います。追加事項は追加事項と記載するなどして、事実が分かるようにお願いします。市や教育委員会に対して不信感が募ります。		番号25の質疑4の回答をご参照ください。																					
34	ある	活用施設の決定理由に関すること	通学	子どもの通学時間が大幅に増えることがただ心配。東中になる理由に納得できないまま、子どもからしたら、問答無用で通学距離が増え交通事故のリスクも増える。また子どもの通学時間が大幅に増え、引いては子どもの朝の時間、家庭の時間、家族との時間が削られることがしんどい。	番号22の質疑1の回答をご参照ください。	決定方法	今後の子どもの中学校生活、ひいては私たちの家庭生活に大きく影響する重要事業を、顔も名前も分からない、それもたった4名の方で決められることに、すごく怖さを感じる。もっと柔軟な決定方法はなかったのか？本当にそれしかないのか？	決定方法に関しては、法律に基づいた方法で決定されたものです。審議会で専門家を含めた市民の代表の方からのご意見を参考にするのが民主主義における計画策定の手法の一つであり、その意見を踏まえて最終的に決定を行うのは教育委員会となります。	生徒規模	生徒数が多い黒中が東中に統合されることに納得がいきません。生徒数を覆す明確な理由を、子どもでも理解できる言葉で簡単に説明し、私たちを納得させてほしい。		番号3の質疑2の回答をご参照ください。	このまま納得させてもらえないまま、私たちの意見を聞いてもらえないまま、置いてけぼりのまま、強引に学校統合が進んでいくのではないかと不安。問答無用で子どもの通学距離・通学時間が長くなり、家庭の時間が圧迫されてしまうのが苦しい。なので納得できる理由がほしい。	この決定に対して、ご納得いただけない意見があることも承知していますが、教育委員会としては、説明会への参加人数や説明会での統合後の対応に関する質問の内容から推察すると、地域や保護者の全部ではありませんが、大方の理解は得ていると感じているところですので、ご理解いただきたく思います。																					
35	ある	活用施設の決定理由に関すること	開校準備委員会	統合懇談会でも感じたが、保護者意見に明確な回答がない。開校準備委員会に意義を感じない。保護者の労力、時間、税金を軽視しないで欲しい。	開校準備委員会では、よりよい教育環境を創出し、地域の実態に即した学校となるように設置するものであり、開催主旨へのご理解をお願いします。	適正な学校規模	適正規模なのになぜ増築が必要なのか。4.8億円かけて10年後不要になるのに？本当に黒中の補修費用が4.8億円もかかるのか疑問。東中にそのまま増築しても、近いうち35人学級化などで6クラス以上になった場合対応できないのでは？	西脇東中学校は1学年2学級の合計6クラス想定で当初から建築されており、統合後の学校規模として想定される6クラス約200人が生活する学校として適正な規模と考えられます。また、将来の人口減少を考えても、今以上に生徒数が増えないことを考えると、西脇東中学校の規模が将来にわたっても適正と考えています。増築する部分は、数学や英語など少人数学習の際に使う予定をしています。費用については番号11の質疑2の1つ目の回答をご参照ください。生徒規模については番号7の質疑2の回答をご参照ください。	推進計画	教員不足、単学級解消に焦っているようにしか思えない。小規模でも素晴らしい人材は育ちます。小中一貫や幼保連携や高校も加えた西脇市全体のビジョンを教えてください。	教員不足の解消のためではなく、子どもにとってより良い教育環境の実現のため、単学級化を解消することを目的として統合を行うこととしています。西脇市の目指す教育については、第4期西脇市教育振興基本計画をご参照ください。	説明内容	都合の悪い質問には、はぐらかされて芯がずれた回答ばかりなので教育委員会という組織が怖い。統合にに関してだけでなく、いじめや体罰、暴力問題が起こった場合も不正に処理されるんじゃないか不安。また、いじめなどの問題に対しては、これでも、適切に対処してきており、ご不安を感じられることのないように、そうした問題の防止や支援の充実など必要な対応を進めていきます。																						

36	ある	活用施設の決定理由に関すること			施設的安全性	2月1日のネット質問5の回答で、施設の安全性の中に通学路の安全も含んでいるとあるが、11月臨時の会議録の委員さんの意見には「安全性のポイントにつきましては、バザードマップ上で、被害想定区域から離れている点」や「災害の恐れが少ないのが重要」とあり通学の安全性を含んでいるとは思えません。どう思いますか？	11月の臨時教育委員会に限らず、協議は複数回にわたって行っており、各回の協議の主旨を踏まえて、決定理由としました。							
37	ある	学校統合の必要性・統合方法に関すること			施設的安全性	一番始めの説明会で市長が人数の多い黒中ではなく東中に決めた理由は重点地が近い方と力説したのに重点地が黒中側になると分かってから全く言わなくなり最終決定がハザードマップだと！はじめと言うことがコロコロ変わってこんなんで納得するわけがない。きちんと納得出来る理由を出してほしい。	人口重心に関しては、将来的な可変性を持ったものであることを確認し、理由として用いるのは適さないと判断し、計画の案から計画を確定する際に理由としては削除しました。そのため、活用する校舎の決定については、一旦フラットな状況にして、平等に2つの学校の良いところなどを詳細に検討し、アンケート結果等を参考にして、災害からより遠い学校の方がより安全だという点を理由の一つとして挙げました。決定理由に関しては番号3の質疑2の回答をご参照ください。	説明内容	これで本当に黒中側が納得していると思われていると思いますか！？まともな答えが帰ってきたことがない。聞きたいことはあるかとよく言われるが本当に答えようとしていますか！？	番号34の質疑4の回答をご参照ください。	推進計画	全て不安です。知れば知るほど西脇市の計画性のなさ。市民の税金を使うのにアバウトなプラン設計。西脇市全体の学校のことすら決まっていないのに目先だけ。不安だけです。	番号12の質疑2の回答をご参照ください。	
38	ある	クラス数について										適正な学校規模	2月1日の比延会場の質問2の回答で、計画とおり6クラスになると見込んでいるとあるが、もし7や8クラスになった場合の教室についてはどのように考えているのか？	番号7の質疑2の回答をご参照ください。
39	ある	統合のメリット										推進計画	2月1日の黒田庄会場の質問9の回答で、教員の確保は習熟度別授業などのきめ細やかな対応に繋がるとあるが、現時点で両中学校ともに英・数で3学年すべて少人数授業を実施している聞いている。免許外も関係ない黒田庄のメリットは比延に比べて少なすぎる。どう思いますか？	統合に関しては、単学級化や、単学級になる可能性のある学校が対象になり、西脇東中学校、黒田庄中学校ともに統合の必要がある状況になっていることについて、ご理解をお願いします。
40	ある	改修費用に関すること										コスト	2月1日の黒田庄会場の質問15の回答にどちらの工事の内訳にも⑤その他外構工事とあるが、どんな外構を想定しているのかももう少し具体的に知りたい。そして、それは本当に必要なのか、しなくても不便はあるが使える程度のもなのか、考えを聞かせて欲しい。	外構工事としては、正面玄関の通路段差解消改修、屋内体育館周辺の舗装沈下改修、スクールバス乗降・方向転換スペース表示改修、職員駐車場駐車区画表示改修を予定していました。学校施設をより安全に利用するには必要な改修であると考えています。
41	ある	活用施設の決定理由に関すること			適正な学校規模	2月1日の黒田庄会場の質問18の回答に東中は6クラスに適正な規模とあるが、適正なら増築は必要ないと思う。現在のクラス規模（4クラス）では適正だが、6クラス約200人には適正だと思えない。東は支援学級1クラス、通級指導専用の教室や別室対応できる教室も少ない。どう思いますか？	学校の適正規模に関しては、番号31の質疑2の回答をご参照ください。特別支援学級の質問に関しては、番号6の質疑2の回答をご参照ください。							
42	ある	学校統合の必要性・統合方法に関すること							生徒規模	施設の決定理由が納得できないのに、統合はできない。黒田庄の方が人数も多いし、比延より人口重心地からも近いです。どう思いますか？	番号37の質疑2の回答をご参照ください。			

43	ある	改修費用について								<p>活用校舎の改修費用の中で、黒中の場合は体育館の屋根の劣化対応が費用に含まれているが、これは統合に関係なく早急に対応するべきものだと思う。黒中は風水害及び地震の避難所で、体育館も使用する予定となっている。統合の費用として、計算されていることに違和感を感じるが、どう思いますか？</p>	<p>修繕対応により、現状では雨漏りは止まっていますので、統合までの間に、再度発生した場合は、その都度修繕対応をしていきます。</p> <p>教育委員会としては、学校施設として長期間使用する場合は、体育館屋根の抜本的な改修が必要となると考えています。</p> <p>また、避難所の指定は、学校施設として健全な状態で使えることが前提となっていますので、統合校として活用する場合の費用として想定しています。</p>
44	ある	説明会への参加について								<p>説明会に参加したり、質問を考えたりに疲れた。何度も説明会に参加し、何度も質問したが、納得のいく回答はもらえていない。仕事、家庭、育児と忙しい中、説明会に参加するために何かを犠牲にしています。周りの保護者もみんなそう感じていて、納得できないけど疲れてしまって諦めている。どう感じますか？</p>	<p>これまで、説明会のみならず、様々な場面で学校統合の必要性や西脇東中学校と黒田庄中学校の統合等について、市民の皆さまのご理解をいただけるよう、丁寧な説明に努めてきました。</p> <p>学校統合について、ご納得いただけない意見があることは承知していますが、引き続きご理解をいただけるよう努めていきます。</p>
45	ある	改修工事の費用について								<p>2月1日の黒田庄会場の質問20の回答に黒中の外構工事はバスが回転しやすい形や段差をなくすとあるが、マイクロバスが回転するには黒中は不十分な大きさなのか？修学旅行のバスはもっと大きく、黒中にとめて出発できたのではなか？どうお考えですか？</p>	<p>バスの乗り入れが物理的に可能であることは確認しています。</p> <p>統合校として活用する場合に、学校の玄関前では徒歩や自転車通勤する生徒の往来がある中で、通学用マイクロバスが発着することを想定しており、区画線等で明確に動線を分離することで、より安全な環境をつくることを目指したものです。</p>
46	ある	開校準備（通学方法等）に関すること	<p>推進計画</p>	<p>開校準備委員会がまだ発足しておらず、当初は3年間で準備をする予定だったが2年と短くなっている。子どもの大切な一年、一年をじっくり考えたいので、開校年度を伸ばすことはできないのか？</p>	<p>ご意見のとおり、子どもたちにとっては、義務教育期間の1年間がそれぞれにとって大切な1年間です。</p> <p>開校時期を1年遅らせることは、子どもたちの良好な教育環境の実現を先送りすることであり、現時点で開校時期の延期は想定していません。</p> <p>開校準備委員会の期間に関しては、番号13の質疑1の回答をご参照ください。</p>						
47	ある	開校準備（通学方法等）に関すること	<p>通学</p>	<p>2月1日の黒田庄での説明会のネット質問4の回答で、スクールバスは下校については2本運行するとあるが、朝は2本ではないのか？部活動の朝練は全くしないつもりなのか？</p>	<p>西脇東中学校に8時5分に到着することを想定した場合、起点地区を出発する時間を7時30分前後にする必要があります。そこから逆算すると、7時には西脇東中学校を出発する必要があり、朝練のためのバスを出す場合は、起点地区を6時30分に出発することになります。現状で朝練の時間は7時30分からとなり、バスの場合は7時に到着してしまうので30分間学校で待つこと、また家を6時20分頃には出なければいけないことを考えると、家庭に負担がかかることが予想され、現状では朝2本運行するのは現実的ではないと考えていますが、開校準備会議等で保護者の皆様のご意見を伺いながら決めていきたいと考えています。</p>						
48	ある	開校準備（通学方法等）に関すること	<p>通学</p>	<p>通学路には街灯や防犯カメラをつけてほしい。開校準備では今の時代にあったPTAのあり方を考えてほしい。部会は無駄を省いてほしい。</p>	<p>児童生徒の通学の安全を確保することは統合に限らず必要なことです。必要に応じて街灯や横断歩道の設置、また見守り隊の協力などを得ながら通学の安全を確保していきます。</p> <p>PTAのあり方については開校準備委員会にご意見としてお伝えし、検討します。</p>	<p>特になし</p>		<p>特にない</p>	<p>保護者負担など</p>	<p>統合時に名札や校章バッジなど新しく購入する際、保護者負担を減らしてほしいです。</p> <p>説明会では反対意見の質疑応答で終わるので、子どもたちの将来のためにもっと前向きな話を聞きたいです。</p>	<p>保護者負担に関してはできる限り負担が軽減できるように配慮します。</p> <p>説明会では、誰もが質問できるようにQRコードを用いたネット質問をご用意しています。当日の回答が難しい場合は後日HPに回答を掲載しますので、説明会に参加された場合はぜひご活用ください。</p>

49	ある	活用施設の決定理由に関すること			適正な学校規模	35人学級の場合でも6クラスと想定されているが、もし生徒数が現状のままで7~8クラスになった場合どう対応するのか。適正規模というより、開校時から適切な教室数が確保されるべき、また特別支援や通級、別室対応が必要な場合はどうするのか。	教室数については番号7の質疑2の回答をご参照ください。 特別支援学級については、番号6の質疑2の回答をご参照ください。					
50	ある	全てにおいて納得のいく説明がほしい	通学	この2月に通学の安全性を見るという前回の回答に遺憾だ。通学の安全を見たとでなくこれからなのかと憤った。このように通学の安全性について軽んじてみている計画に対して、どのような回答があるうとも不安しかない。	施設的安全性	既に通学の安全性に関しては確認しております。また、両地区内の通学路の安全性は現時点で既に一定確保されていると考えており、現状で通学路の安全性等が課題となる可能性がある場所としては、これまで通学路の設定がなかった地区間等の道路であると想定しています。 そうした中で、両地区を結ぶ県道は十分な幅員等があり、一般的に見て、現時点では往来が困難であるような状況ではないのではないかと考えています。 そのため、そこを通学路に指定した場合に、どのような課題があるか等を開校準備委員会等で協議します。	なぜ、活用校を東中にする理由が何度も変わるのか。人口重心地・日照時間・新しい校舎、そして今回は災害マップ…この一貫性の無さについて説明がほしい。	番号37の質疑2の回答をご参照ください。			改修工事の概算4.8億円は懇談会の参加者が要求し結果示されたものだ。市民の税金を使う事業において、これほどずさんな計画はあり得ない。子どもだましに見える回答であり、論点から外す意図を強く感じた。また黒中の体育館の屋根の修理まで含めていたが、これは除いた積載にすべきではないか？	学校施設として、長期に使う施設であれば、老朽化対策が必要な時期が到来している一般的なにも考えられる項目や教育環境の改善を図るために必要と考えられる項目を計上しています。 黒田庄中学校の屋根については、劣化等の抜本的な改修が必要と考えており、費用として計上しています。